

令和3年度 講評一覧

NO.	部門	団体名	事業名	講評	ランク	助成金額
1	はじめの一步部門	えこども親子リズム会	斎藤公子のリズム遊び	コロナ禍で思うように外出ができず、つい運動不足になりがちな現在の状況やニーズによく合った取り組みかと思います。とくに親子で楽しめるような工夫がなされている点、指導者の養成まで視野に入れている点は高く評価に値します。一方で、参加費として、1組あたり1,500円という料金設定は、市民がだれでも気軽に参加できる金額であるかといわれると、やや疑問が沸きます。予算を見直すなどして、もう少しだけ低い料金に設定できると理想的です。託児委託費が計上してありますが、外注するのではなく、たとえばご家族や会員の間で協力しあうなどして、なんとかできないものでしょうか。限られた予算の中なので、やりくりは大変であることは十分承知しておりますが、工夫次第で節約できる場所もあるようにも思えました。	A	100,000円
2	はじめの一步部門	居場所カフェ～リユネット～	親たちのための居場所の開設	子育てで悩んでいる方に向けて、大変必要とされている事業だと思います。実際の居場所であるカフェを実施するとともに、instagramでの情報発信を並行して行うことで、より広く事業の認知が広がる工夫がなされていることが評価できます。当事者の方からすると毎日の実施が望ましいと思いますが、自団体だけでは対応が難しいでしょうから、市内の同様の団体と連携して、広くサポートのネットワークを緊密にしていくと良いと思います。パパも含めた子育て中の両親を対象とするのか、ママ向けに特化していくのかを明確にすると、より参加しやすい雰囲気作りが可能になると思います。	A	63,000円
3	はじめの一步部門	学習支援ランナーズ	学習支援事業	現在、市内西部では、学習支援事業が実施されていませんので、当該地域の中学生にとりましては、貴重な場の提供になると思います。また、無料の学習支援活動は、保護者にとっても負担のかからない魅力的な部分だと思います。今年度が1年目の事業となり、運営が安定するまでには、ご苦労も多いと思いますが、行政、特に教育委員会と上手く連携を図りながら、学習支援ボランティアの確保や生徒の募集に努めていただければと思います。この事業では、学習の遅れがちな生徒への学習支援のほかにも、楽しく学習に取り組むことで家庭や学校以外の居場所としての役割にも期待しています。	A	49,000円
4	一般部門	交通教育NPO OSC Nじてんしゃスクール	矢田川を花でいっぱい事業	自転車を活用した交通教育だけでなく、彼岸花の植え付けを通じた環境又は情操教育を実施することは、まさに貴団体の規約で規定しておられる「地域交通社会の健全な活性化に関する事業」につながるものと感じました。また、赤い花に囲まれながら楽しく自転車の練習をしている姿を見た方が、新たに活動へ参加することになれば、交通文化の発展や健康の増進に大きく貢献することになると思います。こうした活動の継続によって、自転車練習場付近で毎年沢山の彼岸花が咲き乱れ、本市の新たな風物詩となることが、今から本当に楽しみです。コロナ禍の中、実施に当たっては何かと御苦労も多いとは思いますが、ぜひ実現されることを心から期待しています。	A	43,000円

令和3年度 講評一覧

NO.	部門	団体名	事業名	講評	ランク	助成金額
5	一般部門	NPO法人デジタルライフサポーターズネット	デジタルサポーター育成事業（学習教材の作成）	情報化が進む現在にあって、スマートフォンやPCの利用はごく一般的なものとなっているものの、まだまだ高齢者の方々を中心に、慣れない技術でもあります。本件は、こうしたデジタルデバイドの解消に資する、素晴らしい取り組みであると思いました。若者にとってはごく簡単なことでも、高齢者の方々にとっては気軽に聞けない、思うように操作できない、という悩みや思いがあり、それに寄り添うような指導書をつくるというアイデアは高く評価に値します。福祉事業者の方からアドバイスを受けながら、コンテンツの考案に取り組むという点で、連携性の点でも優れていると思いました。すでに取り組まれているのかもしれませんが、次は高齢者が自分でマニュアルをみながら、独力でスマホ等を操作できるようになるような、高齢者向けの教本づくりに取り組んでもよいのかな、とも感じました。今後の取り組みに期待しております。	A	46,000円
6	市制50周年記念部門	Art Share	わたしの「いちじく」	市の特産品であるいちじくとアートを結びつけての事業の着想に、大変感心しました。農家さんとの協力体制も築かれており、実現性も高いものと感じます。特産品を五感で見つめ直し表現するという手法は、福祉・教育の観点だけでなく、観光・地域PRの事業としても発展できそうです。	A	36,000円
7	市制50周年記念部門	コミュニティー・ホット・たいむ	多世代交流・和文化の体験	書道は幼児から高齢者、七宝焼きは小学生から大人（親子参加可）と対象を幅広くしているところは良いと思います。普段の生活の中で、床に大きな紙を敷いて、太い筆を使って書道をすることはないので、良い体験につながると思います。秋の作品展開催は、参加者の創作意欲につながると思います。会の名称「コミュニティー・ホット・たいむ」からも、暖かく親しみを感じることができます。今後も、世代を超えた交流が図られるような様々な取り組みを継続していただくことに期待しています。	A	42,000円
8	市制50周年記念部門	はじめ良ければ尾張旭好しの会	紙芝居で伝える尾張旭の歴史と文化	最近話題のDX（デジタルトランスフォーメーション）やデジタル庁の設置、さらには児童生徒へのデジタル機器の配布等、ありとあらゆる分野で「デジタル化」が進みつつある中、あえて「アナログ」な紙芝居を作成し、それを読み聞かせている点が、この事業の最大の特長であり、他の追随を許さない素晴らしい内容である理由だと、改めて感じました。なかなか地域の歴史や特産物を知る機会はありませんが、きっと貴団体による読み聞かせを聞いた親子の記憶には、深く残るものと思います。特に今回は、地域の子供たち自身が「伝える体験」をする企画は非常に秀逸で、きっと本市の歴史や文化を、後世に受け継いでいくことになると思います。コロナ禍の中、実施に当たっては何かと御苦労も多いとは思いますが、ぜひ実現されることを心から期待しています。	A	25,000円

令和3年度 講評一覧

NO.	部門	団体名	事業名	講評	ランク	助成金額
9	市制50周年記念部門	尾張旭防災リーダー会	市制50周年記念いざ災害に立ち向かおう【家具固定基礎研修】	<p>減災をテーマとした学習として、家具固定に着目する、というアイデアは独創性が高く、評価に値します。しかし、今回の審査が、書類審査のみにかかわらず、添付書類等がほとんどないため、事業内容について具体的なイメージが湧きにくかったというのが正直なところです。たとえば、内容と方法のうち、①話題提供は、誰が、どのような話をするのか。②DVDで解説とありますが、そのDVDはどこから入手するのか。③家具固定の実践研修とは、福祉センター内で可能なのか、など。これまでの会の活動実績などを踏まえつつ、今回のこの活動の必要性を積極的にアピールするような根拠資料があると、なお説得力が増し、よかったかと思いました。</p>	A	42,000円
10	市制50周年記念部門	尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	尾張旭市50周年を祝う非公認ソングを作ろう！	<p>「非公認」と自らうたってしまうところに、企画の面白さを感じます。ぜひ、多様な市民の方の意見を盛り込んだ歌を完成させてほしいと思います。作詞、作曲のプロセスも積極的に公開していくことで、より多くの市民に認知してもらえる歌になるのではないのでしょうか。</p>	A	49,000円
					計	495,000円